◎沈降破傷風トキソイド「生研」　[注]

【重要度】　【一般製剤名】沈降破傷風トキソイド　Adsorbed Tetanus Toxoid　【分類】トキソイド類
【単位】◎0.5mL/V
【常用量】
■初回免疫：1回0.5mLずつを2回，3〜8週間の間隔で皮下又は筋肉内に注射
■追加免疫：初回免疫後6か月以上の間隔をおいて（標準として初回免疫終了後12〜18か月の間）0.5mLを1回皮下又は筋肉内に注射
※初回免疫のとき副反応の強かった者には、適宜減量（以後の追加免疫のときの接種量もこれに準ずる）
■破傷風の発症防御には0.01 IU/mL以上の抗毒素量が必要
【用法】皮下注または筋注
■冷蔵庫から取り出し室温になってから必ず振り混ぜ均等にして使用

【透析患者への投与方法】腎疾患患者は接種要注意者（1）
【保存期CKD患者への投与方法】腎疾患患者は接種要注意者（1）
破傷風ワクチンの抗体獲得率は腎機能正常者100%，保存期CKD55%，血液透析69%，腎移植後85%（ただし移植例は抗体価が低い可能性）（Girndt M, et al:　Am J Kidney Dis 1995 PMID: 7645553）
【特徴】破傷風毒素にホルマリンを加えて抗原性を残すように，毒性だけを失わせたもの．初回及び追加免疫の3回接種(基礎免疫の完了)を行っている場合，破傷風発症阻止効果は90%以上と考えられている．
【主な副作用・毒性】ショック，アナフィラキシー，一過性の発熱・悪寒頭痛・けん怠感・下痢・めまい・関節痛，注射部位異常．
【効果発現時間】2回目接種後数日
【効果持続時間】約1年で，追加免疫（3回目接種）を行うと少なくとも4〜5年間

【備考】高齢者や小児での用量も成人と同じ0.5mL
【更新日】20220511

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。
※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。